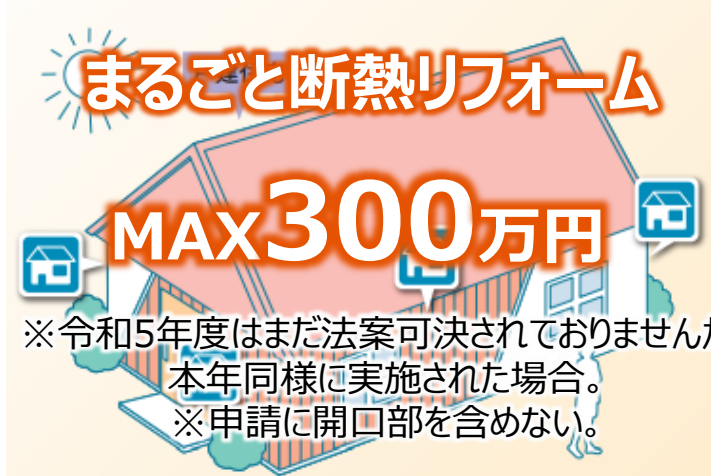


断熱改修における補助金・最大500万+アルファ狙える可能性あり！

SII次世代省エネ建材の実証支援事業※



まるごと断熱リフォーム
MAX300万円

※令和5年度はまだ法案可決されておませんが、
本年同様に実施された場合。
※申請に開口部を含めない。

こどもエコすまい支援事業



各工事ポイント取得
2万ポイント以上MAX60万※
(断熱工事・開口部リフォーム工事を申請することは不可・最低必要ポイント以上)

バリアフリー改修

玄関改修
(確認中)

節水・保温浴槽等

住宅の断熱性能向上のための先進的設備
導入促進事業



開口部断熱リフォーム
MAX200万円

特殊金属膜 (Low-E膜)
室外側 室内側

遮熱高断熱Low-Eガラス
高性能断熱ガラスで
暑さ、西日対策を

地方自治体の補助金



暮らしをつくる、笑顔でつなぐ
KJK 神奈川県住宅供給公社
横浜市住宅供給公社



クール・ネット東京

国の補助金と併用可能な
地方自治体独自の補助金

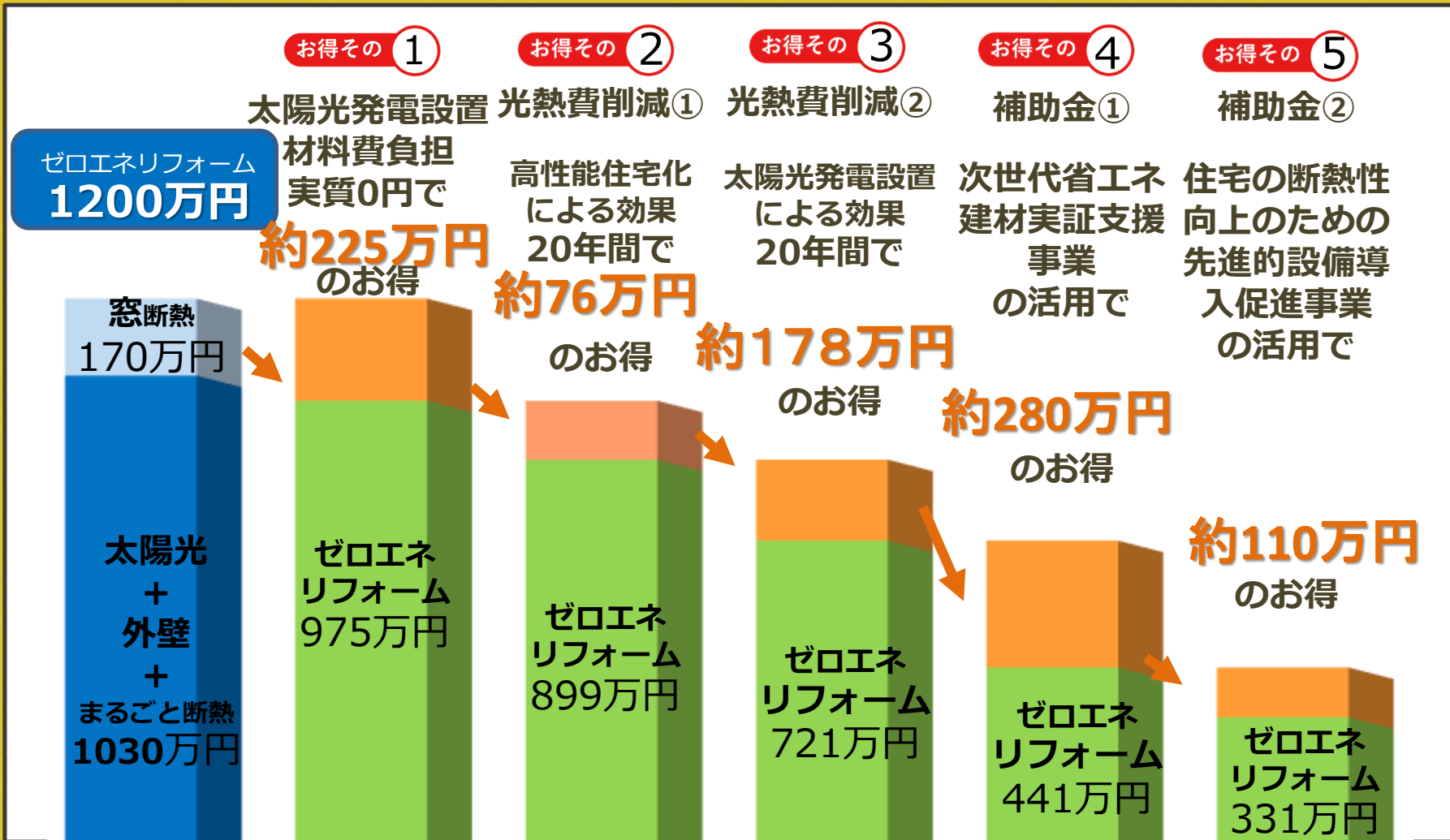
LIXIL

※通常30万円/戸。子育て世帯・若者夫婦世帯は、
上限45万円/戸（既存住宅購入を伴う時は60万円/戸）

実質

約869万円

のお得!!



ゼロエネリフォーム
331万円

実質

約225万円

のお得!!

お得その

1

太陽光発電システム設置費用材料代負担実質0円

建て得
リフォーム

まるごと断熱リフォームのお客様限定で太陽光発電システムの製品代実質0円『建て得リフォーム』というサービスをご利用いただけます。

太陽光発電10kw設置の場合

通常の購入設置の場合
(27.5万円/kW)

「建て得リフォーム」の場合

275万円

10kw設置
材料工事費共

お得額
225.5万円

49.5万円



建て得リフォームならお客様のご負担は設置工事費のみ

実質

約 76 万円

のお得!!

お得その

②

住宅の高性能化による光熱費削減効果20年間

まるごと断熱リフォームは既存のお住まいを断熱リフォームで省エネ住宅に生まれ変わらせるリフォームです。

断熱リフォームをした場合としなかった場合で
光熱費を比較すると...

20年間では

差額は

76万円

年間削減額
3万8千円

リフォーム
した場合

リフォーム
しない場合



毎月お支払いの光熱費なので積もり積もると差が大きく！

※自立循環モデルプラン（延べ床120.07㎡）でLIXIL省エネ住宅シミュレーションを使って試算。

※平成4年省エネ基準の住宅（築30年程度）を断熱改修した場合の試算額です。

実質

約178万円

のお得!!

お得その

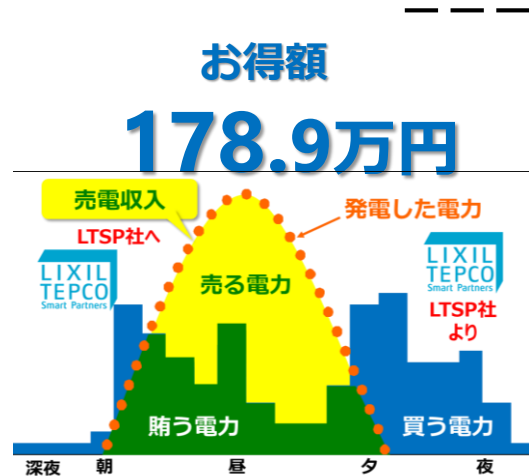
3

太陽光発電の光熱費メリット20年間

建て得
— リフォーム —

『建て得リフォーム』というサービスは発電した電気の売電収入を10年間はLTSP社がいただきますが11年目からの売電収入と発電により購入しないで済んだ光熱費がお客様のメリットにをご利用いただけます。

太陽光発電10kw設置の場合



お得額

178.9万円

73.6万円

売電
収入

105.3万円

電気代
削減

20年間太陽光削減計算式	10kw A	
昼間の電気料金単価	25.8	円/kWh
再エネ賦課金	3.45	円/kWh
電気料金+再エネ賦課金	29.25	円/kWh
平均自家消費	1,800	kWh/年
太陽光年間発電量	11,000	kWh/年
売電量	9,200	kWh/年
11年目以降の売電単価	8	円/kWh
11年目以降の売電額(10年)	736,000	円
太陽光効果による削減額(年)	52,650	円/年
太陽光効果による削減額(20年)	1,053,000	円
太陽光効果による効果額(削減額+売電)	1,789,000	円

買わなくて済んだ光熱費と売電収入がメリットです

※【太陽光発電】10kW想定、【発電量】1,100kWh/kW、【再エネ賦課金】2022年11月現在で試算、【電気料金】東京電力スマートライフプラン、【燃料費調整額】考慮無し、【11年目以降の売電単価】8円

実例では **約280万円**

のお得!!

お得その

④

次世代省エネ建材の実証支援事業(令和4年度)を活用して

まるごと断熱リフォームは経済産業省の補助金『次世代省エネ建材の実証支援事業』の要件を満たしており、補助金を申請すればお得にリフォーム工事が可能です。

対象の断熱工事費

補助金のイメージ

580万円

断熱材工事費
(壁・天井・床)
+
換気装置

お得額

280万円

補助金


280万円

お客様負担分

280万円

外 外張り断熱 (外断)

外張り断熱工法等で住宅の外壁等を改修する方法



●事業の内容

要件のポイント	補助金額
外気に接する外壁等を外張り断熱工法等で改修すること	・補助率 補助対象経費の1/2以内 ・補助金の上限額 1~4地域:400万円/戸 5~8地域:300万円/戸
必須製品	住宅区分
断熱材(外断)	戸建住宅
任意製品	
断熱材(内断)	
断熱材(床断)	
断熱材(天井断)	
断熱材(壁断)	
断熱材(窓断)	
断熱材(基礎断)	
断熱材(屋根断)	
断熱材(玄関断)	
断熱材(バルコニー断)	
断熱材(ベランダ断)	
断熱材(玄関先断)	

■必ず購入することが要件です(必須製品)
■必須製品と同時に改修することで補助対象となります(任意製品)

対象断熱工事 (材料・工事費) の半額が補助されます。

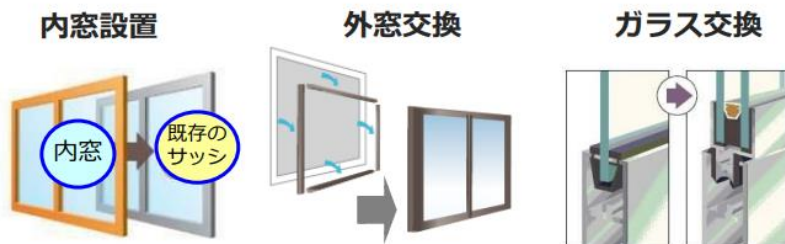
※令和4年度の補助金要綱での試算です。公募期間・公募要領についてはSII(環境共創イニシアチブ)のHPをご覧ください。(URL: <https://sii.or.jp/>)

実例では **約110万円** のお得!!

お得その ⑤ 住宅の断熱性向上のための先進的設備導入促進事業を活用して

さらに『住宅の断熱性向上のための先進的設備導入促進事業』という窓の断熱工事のための補助金を併用するなら、ダブルでお得になるケースもあります。

4. 補助事業対象の例



某邸
窓断熱工事額170万円
補助金110万円

お得額
110万円

補助金の上限は200万円

(1) 戸建住宅・低層集合住宅における補助額

(円。ガラス交換：1枚あたり。その他：施工箇所1箇所あたり)

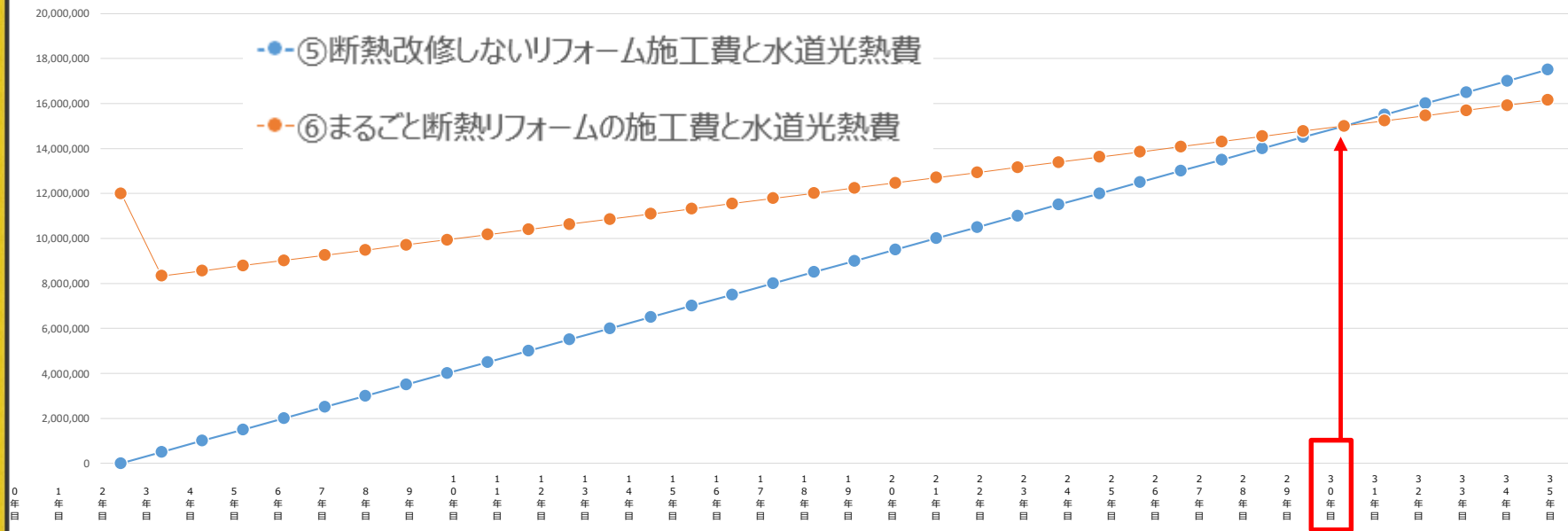
工種	グレード	熱貫流率 (W/m ² ・K)	大きさの区分		
			大 ^{※1}	中 ^{※2}	小 ^{※2}
ガラス交換 ^{※4}	S S	Uw1.1以下	48,000	30,000	8,000
	S	Uw1.5以下	32,000	21,000	5,000
	A	Uw1.9以下	26,000	17,000	4,000
内窓設置	S S	Uw1.1以下	124,000	84,000	53,000
	S	Uw1.5以下	84,000	57,000	36,000
	A	Uw1.9以下	69,000	47,000	30,000
カバー工法	S S	Uw1.1以下	183,000	136,000	91,000
	S	Uw1.5以下	124,000	92,000	62,000
	A	Uw1.9以下	102,000	76,000	51,000
外窓交換 (はつり工法)	S S	Uw1.1以下	183,000	136,000	91,000
	S	Uw1.5以下	124,000	92,000	62,000
	A	Uw1.9以下	102,000	76,000	51,000

対象の窓断熱工事内容と数に応じた額が補助されます。

※補助金要綱での試算です。この補助金は国交省・環境省・経産省3省連携の省エネルギーフォーム支援補助金であり詳細はHPをご覧ください。(環境省HP：https://www.env.go.jp/earth/earth/ondanka/building_insulation/window.html)

ずっと続くお得と快適なくらし!!

リフォーム工事費と水道光熱費の比較 積み上げグラフ



【比較住宅】断熱改修しない場合のシミュレーション水道光熱費	500,000 円/年
まるごと断熱リフォームで改修後の水道光熱費シミュレーション額	230,000 円/年
まるごと断熱リフォームの工事費用 (総額)	12,000,000 円
補助金申請予定金額	3,900,000 円

健康・快適なお住まいに暮らしながら、30年後は逆転！